◎維摩経義疏（弟子品）

15 …

16 れにす、「をけ、にきいてぶ。にとうべし」と。

17 、するは、にはち、のなし。

18 もしく、のくすれば、とうべし。

19 、をし、ちをす。あにとわんや。…

20 そのをけ、にくというをす。にいて、またつり。

21 に、れにくというをす。

22 に、「」より、れをくというをす。

23「、、」というは、

24 には、のるべきく、のくべききをかす。

25 もしくのくならば、にこれにく。

26 、ととのととをす。あにこれにかんや。…

27 「」は、に、れをくというをす。…

28 …　…

29 に、、・のし。

30もしく、のくすれば、にこれ、にってすとうべし。

31 、はとなりとす。、ちにこれのなり。

◎原文　維摩経義疏（弟子品）

15須菩提…　16己計、「我避外道、就従仏学　故可謂正学」。　17淨名呵者、第一義中、則 無邪正之異。　18 若能 如是解者、可謂正学。 　19 汝存　邪正、則成是非。豈言正学。… 　20 呵其　避邪就正。就中亦有二。 　21 第一、呵己就正。　22 第二、従「彼外道」以下、可己避邪。 　23 「若須菩提、不見仏　不聞法」者、 　24 明　第一義中、無仏可見、無法可聞。　25 若能如是、真是就正。 　26 汝存　仏法見聞。豈是就正。…　27 「彼外道六師」以下、第二、呵　己避邪。… 　28 自然外道…　無為外道… 　29 第一義中、本無如来外道之異。 　30 若能 如是解者、真可謂 是仏弟子。因仏出家。 31 汝存　仏異外道、汝則既是　取相邪見。